

架橋ポリエチレン管・継手 使用上の注意

1. 保管時

- (1) ペンキや有機溶剤は、製品を劣化させる場合がありますので、一緒に保管しないでください。
- (2) 直射日光が当たらない屋内にて保管してください。

2. 施工時

- (1) 下記薬品等により品質劣化の恐れがありますので、接触させないでください。
 - ・ 有機溶剤(ベンゼン、アセトン、キシレン、トルエン、灯油、ガソリン、発泡ウレタン等)
 - ・ 防腐剤、防蟻剤、殺虫剤、除草剤
 - ・ 軟質塩化ビニル等の可塑剤を含んだ材料
 - ・ 塗料(ペンキ、マジックインキ等)
 - ・ 接着剤(塩ビ接着剤等)
- (2) パイプや継手が傷ついた場合や座屈した場合は使用せずに、必ず取り替えてください。
- (3) 直射日光が当たるとパイプや保温材が劣化します。日光が直接当たらないように、必ず遮光処置を施してください。

架橋ポリエチレン管、保温材には耐候性がありません。
露出する部分は耐候性テープ等で必ず遮光処置を施してください。

- (4) 継手を埋設する場合は必ず防食テープ等で保護してください。
- (5) パイプと継手の接続部分に極端な曲げ外力をかけないでください。パイプが座屈または破損する恐れがあります。
- (6) パイプ曲げ半径は 150mm 以上となります。

3. パイプの規格と使用条件

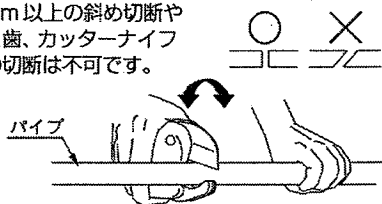
- (1) 架橋ポリエチレン管は JIS K 6769 PN15 XM、および JIS K 6787 XM に準じています。
- (2) 架橋ポリエチレン管および継手の最高使用温度は 95℃以下、その時の使用圧力は 0.65MPa 以下となります。

使用温度 (°C)	0～20	21～40	41～60	61～70	71～80	81～90	90～95
最高使用圧力(MPa)	1.50	1.25	0.95	0.85	0.75	0.70	0.65

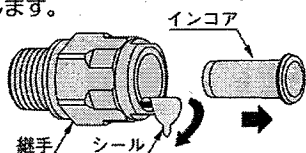
イー ジーフィット(ワンタッチ継手)の接続方法

- ① パイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断してください。

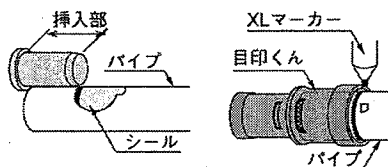
※ 2mm以上の斜め切断や
のこ歯、カッターナイフ
での切断は不可です。



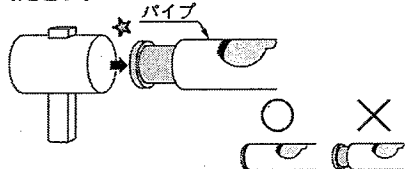
- ② 継手に貼られたシールを剥がしインコアを取り出します。



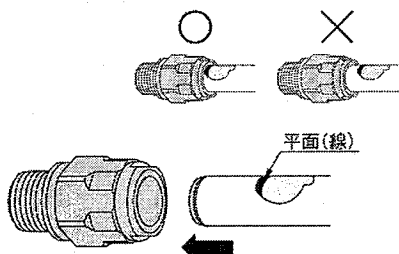
- ③ 剥がしたシールをインコア挿入部の長さに合わせ、パイプに貼付けます。または、専用マーカ (XLマーカ) とマーキングの位置が簡単に分かる目印くんでマーキングをします。



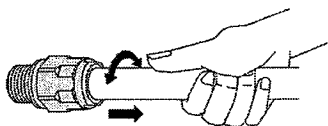
- ④ インコアをパイプに差込みます (根元まで完全に押し込んで下さい)。指で差し込みづらい場合は、木ハンマーで圧入してください。



- ⑤ パイプを継手に押込みます。シールの平面 (赤線)、または、マーキングの位置が継手の端面まで入ると正しい施工です。

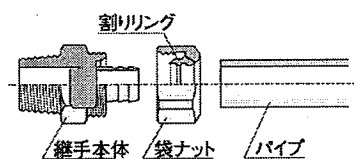


- ⑥ パイプを引張り、抜けないかを確認します。パイプを少し回転させ、継手となじませます。挿入深さ確認のため、シールは貼付けたままにしてください。

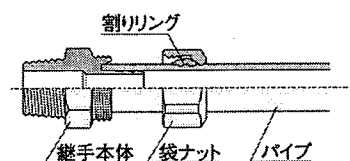


XL 継手(メカニカル継手)の接続方法

- ① パイプカッター等を用いて、パイプを管軸に対しほぼ直角に切断する。

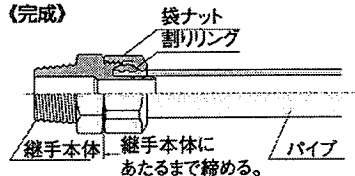


- ② 割りリングが装着されている袋ナットにパイプを通し、パイプを継手本体の根元まで挿入。



- ③ 袋ナットが継手本体の端面にあたるまで、スパナやレンチ等で締める。

締付け後 (完成)



<注意>

1. 接続の前に、パイプ表面にキズや汚れがないかご確認ください。
2. パイプは樹脂管用のパイプカッターで切断してください。
3. 差込み不足、締め付け不足の場合、不完全な接続となり、漏水につながります。
4. 差込み・締め付けは確実に行ってください。